

2020 年度支部活動【関西支部】

「次世代を担う！『地域の外国人支援』」開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2020年9月9日(水) 会場：オンライン (Zoom)

参加者：66名 (会員55名・一般11名)

「次世代を担う！『地域の外国人支援』」を、9月9日(水)に実施しました。本イベントは、これまで地域日本語活動に関わったことがない日本語教育関係者の方や、これから日本語教育に携わりたいと考えている方の、地域の日本語活動へのアプローチの第一歩となることを目指して開催しました。イベントには、これから日本語教育に関わりたいと考えている大学院生や、すでに地域の外国人支援に携わっている自治体職員、国際交流協会職員、教師養成に携わる大学教員など、さまざまな背景を持つ方々が参加してくださいました。

第一部では、遠藤知佐さん(兵庫県国際交流協会)、新矢麻紀子さん(大阪産業大学)にご講演いただきました。遠藤さんの「兵庫県における地域日本語教育体制づくりの推進」では、現在取り組まれている文化庁の事業を軸に、兵庫県における地域日本語教育の現状と体制づくりに向けた取り組みについてお話してくださいました。新矢さんの「日本語教師の新たな役割—地域から学ぶ、地域に貢献する」では、現在の地域日本語活動をめぐる社会的な動向について、また、地域日本語活動へのアプローチのしかた、活動への関わり方について、ご自身が現在関わっている活動や教員養成課程での取り組みの事例をあげつつ、お話してくださいました。お2人のご自身のライフストーリーをまじえてのお話は、私たちがどのように地域の活動への第一歩を踏み出せばいいのか、またそこから地域の活動にどう関わっていけばいいのかを考えるうえでの大きなヒントとなりました。



第二部、次世代ワークショップ(ブレイクアウトセッション)では、第一部講演に関連した3つのテーマから1つを選び、グループで話し合ってくださいました。ディスカッションでは、3つのテーマから発展して、「日本語教師養成の中で何ができるのか」、「留学生を地域の日本語活動につなげるにはどうすればいいのか」、「行政にどのようにアプローチし、横のつながりを作ればいいのか」、「オンラインによる、リアルな『場』にとらわれない場づくりをどのように行っていくか」、

などについても話し合いが行われていました。各グループでの話し合いで出された意見やアイデアは、掲示板アプリを使用し、全体で共有しました。掲示板には、イベント後も多くの投稿があり、参加者のみなさまの熱い思いが感じられました。

第一部の講演、第二部の参加者のみなさまのディスカッションからは、現在の社会情勢の変化により、地域の日本語活動の現場で、日々新たな課題が生まれていることがうかがえました。私たちも、ここであげられた課題が社会全体で取り組むべき課題であることをあらためて認識するとともに、それらの課題の解決のために行動することが、次世代の私たちの力を発揮できる活躍の場を作り出す新たなチャレンジへの契機になりうるのではないかと可能性を感じました。

この場を借りて、本イベントにご参加くださった皆様、そしてご協力くださった関係者の皆さまに心より感謝いたします。

(報告者 支部活動運営協力員：大平幸・黒田史彦・中山英治 支部活動委員：木下謙朗)